

<毎月決算型>

第118期末 (2024年7月16日)	
基準価額	9,035円
純資産総額	171億円
第113期～第118期 (2024年1月16日～2024年7月16日)	
騰落率	11.3%
分配金合計	210円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<年2回決算型>

第20期末 (2024年7月16日)	
基準価額	18,496円
純資産総額	34億円
騰落率	11.3%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ 短期インド債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券 **特化型**

運用報告書(全体版)

作成対象期間：2024年1月16日～2024年7月16日

<毎月決算型>

第113期(決算日2024年2月15日) 第116期(決算日2024年5月15日)
第114期(決算日2024年3月15日) 第117期(決算日2024年6月17日)
第115期(決算日2024年4月15日) 第118期(決算日2024年7月16日)

<年2回決算型>

第20期(決算日 2024年7月16日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2024年7月16日に決算を行いました。

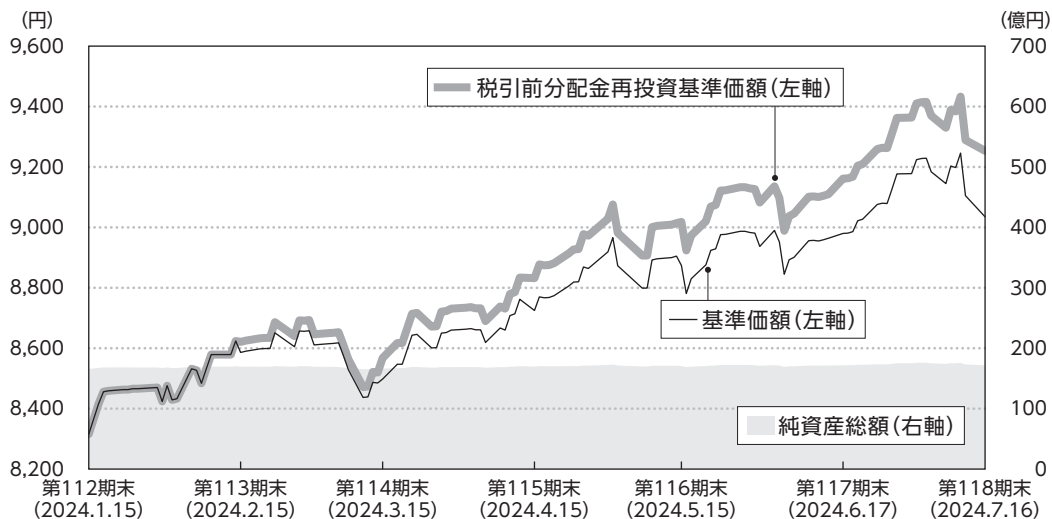
各ファンドは、「ニッセイ短期インド債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的にインド・ルピー建ての短期債券等に分散投資し、安定した利息収入の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2024年1月16日～2024年7月16日

基準価額等の推移



第113期首	8,316円	既払分配金	210円
第118期末	9,035円	騰落率 (分配金再投資ベース)	11.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・当作成期初から2月末、3月中旬から4月末、6月上旬から7月上旬にかけて、日本では日銀の金融緩和政策の修正には限界があると見る向きが多い一方、インドではインド準備銀行(RBI:中央銀行)が政策金利を据え置き、金融引き締め局面を続けていたことから、金融政策の方向性の違いなどを背景にして、インド・ルピーが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・3月上旬に日本では日銀がマイナス金利政策を解除にすると観測が強まり、インド・ルピーが対円で下落したこと
- ・7月上旬から当作成期末にかけて、日本の米ドル売り円買いの為替介入と見られる動きや日銀金融政策決定会合への警戒感などから円高が進み、インド・ルピーが対円で下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第113期～第118期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	69円	0.792%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,771円です。
(投信会社)	(34)	(0.385)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(34)	(0.385)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
有価証券取引税	0	0.000	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(0)	(0.000)	
その他費用	5	0.056	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(4)	(0.047)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.007)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	74	0.849	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

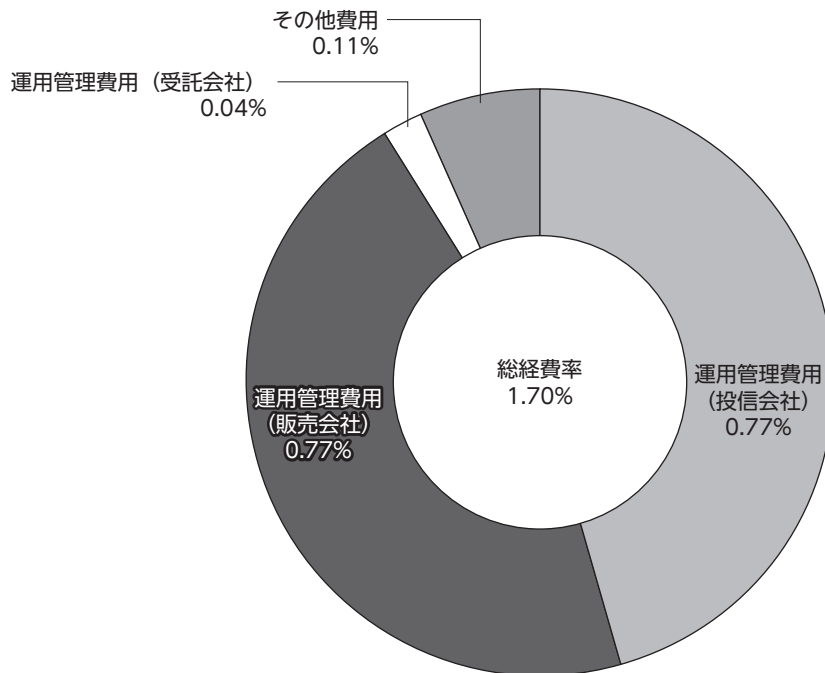
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



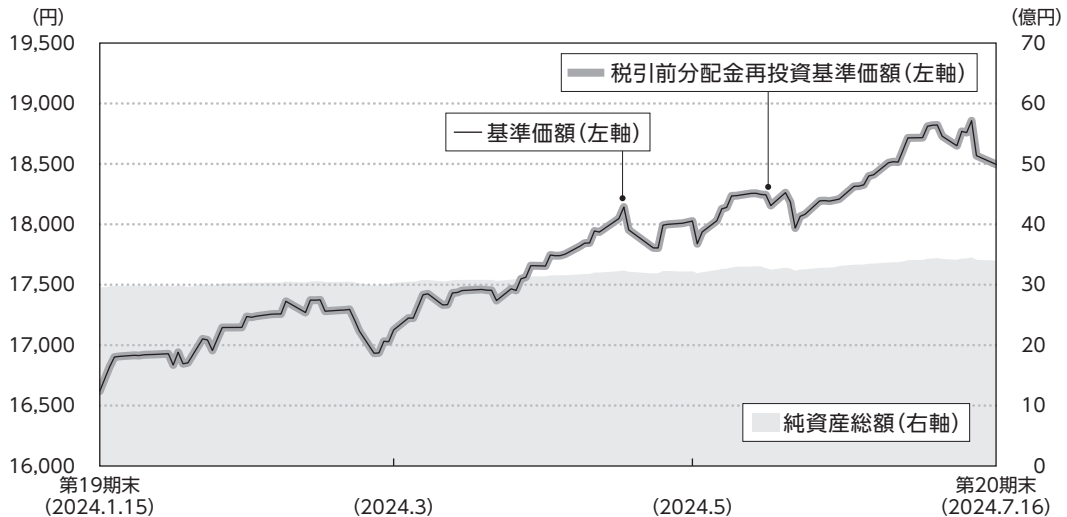
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第20期首	16,620円	既払分配金	0円
第20期末	18,496円	騰落率（分配金再投資ベース）	11.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 期初から2月末、3月中旬から4月末、6月上旬から7月上旬にかけて、日本では日銀の金融緩和政策の修正には限界があると見る向きが多い一方、インドではインド準備銀行（RBI：中央銀行）が政策金利を据え置き、金融引き締め局面を続けていたことから、金融政策の方向性の違いなどを背景にして、インド・ルピーが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬に日本では日銀がマイナス金利政策を解除にすると観測が強まり、インド・ルピーが対円で下落したこと
- ・ 7月上旬から当期末にかけて、日本の米ドル売り円買いの為替介入と見られる動きや日銀金融政策決定会合への警戒感などから円高が進み、インド・ルピーが対円で下落したこと

1万口当たりの費用明細

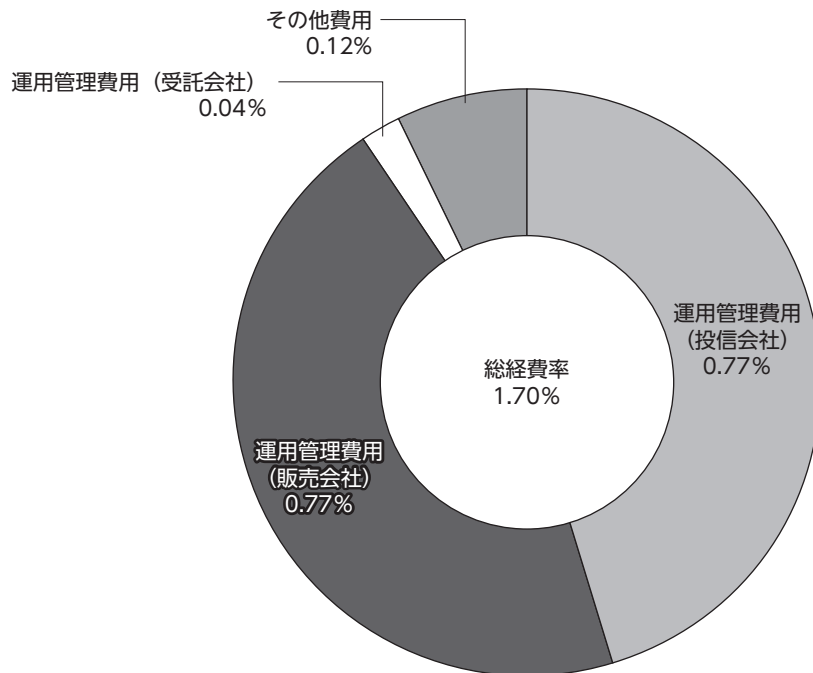
項目	第20期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	140円	0.792%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は17,713円です。
(投信会社)	(68)	(0.385)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(68)	(0.385)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(公社債)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	10	0.058	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(8)	(0.047)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.007)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	151	0.850	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



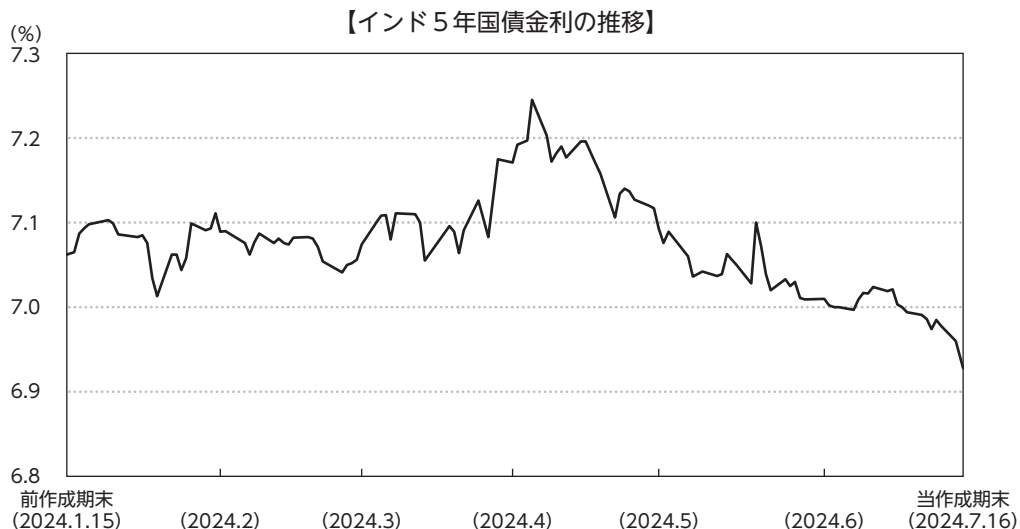
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ インド債券市況

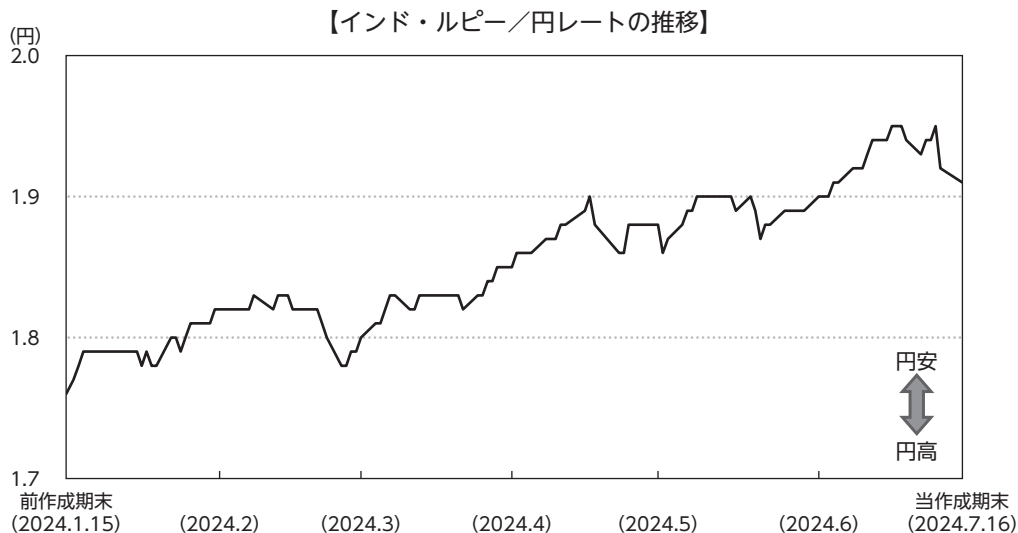


(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

インド5年国債金利は前作成期末対比で低下しました。

当作成期初から3月末にかけては、消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化する中、RBIが早期の利下げに慎重な姿勢を示したことから、金利は振れ幅を伴いつつも横ばい圏で推移しました。その後、4月末にかけては米国の利下げ観測が後退し、世界的に金利上昇の地合いが強まる中、インド国債金利も上昇しました。5月から当作成期末にかけては、米金利の上昇一服に加えて、主要新興国債券指数へのインド国債の組み入れを背景にインド債券市場への継続的な資金流入に対する期待感が高まったことから、インド国債金利は低下基調で推移しました。

■為替市況



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

インド・ルピー／円レートは前作成期末対比で上昇しました。

当作成期初から4月下旬にかけて、インドではRBIの金融引き締めが当面継続するとの見方が強まる一方、日本では日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したこと等から、インド・ルピーは上昇基調で推移しました。4月末から6月末にかけては、日本の米ドル売り円買いの為替介入を受けて円高に大きく振れる場面もありましたが、上昇基調は継続しました。7月上旬から当作成期末にかけては、日本の米ドル売り円買いの為替介入と見られる動きや日銀金融政策決定会合への警戒感などから円高が進み、これまでの上昇幅を縮小する動きとなりました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

インド・ルピー建ての短期債券（国債、社債、政府機関債、国際機関債等）に分散投資し、安定した利息収入の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行いました。なお、インド債券市場に関する調査・分析等については、ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメントから助言を受け、ファンドの運用に活用しています。

当作成期末の債券種類別構成比（注1）は、組入比率の高い順に、社債（46.2%）、国債（35.1%）、政府機関債（14.4%）、国際機関債（4.3%）としています。

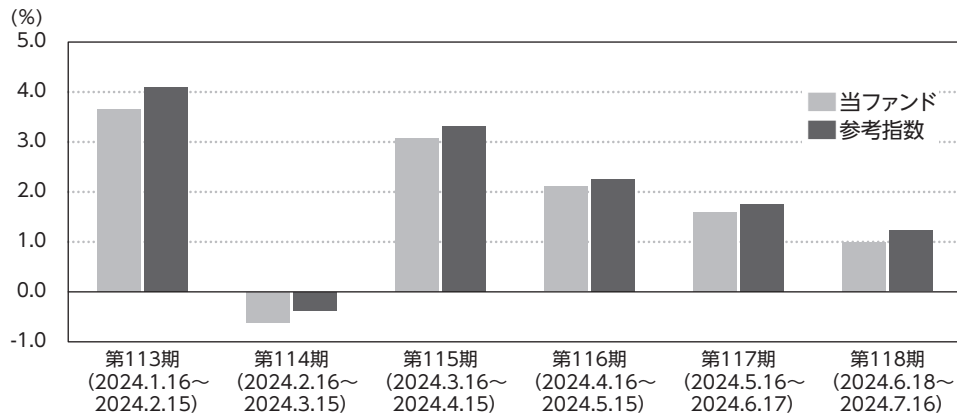
また、社債・政府機関債等の業種別構成比（注2）は、組入比率の高い順に、商業金融（インフラ投資）（54.9%）、銀行（22.1%）、住宅金融（11.8%）、資本財・サービス（11.1%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）比率は対組入社債・政府機関債等評価額比です。

参考指数との差異

■ 毎月決算型



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はCRISIL Short Term Bond Fund Index (円換算ベース) です。

当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+11.3%となり、参考指数騰落率(+12.9%)を下回りました。

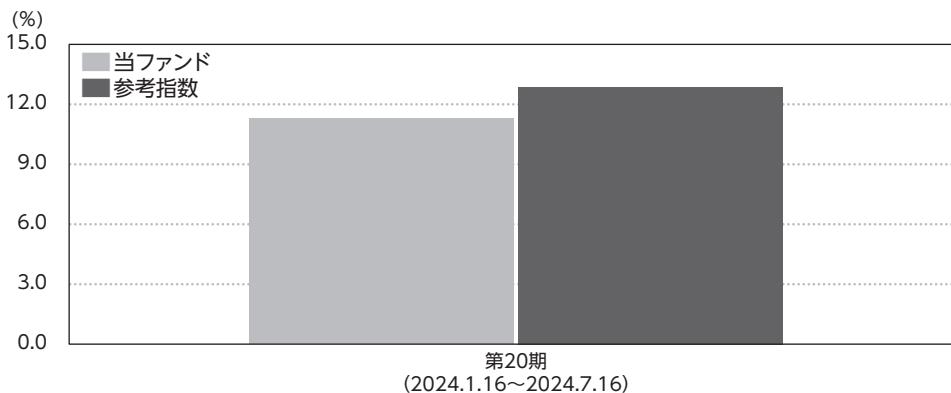
これは当ファンドにおいて信託報酬等の費用を控除した影響に加え、マザーファンドにおいて保有の多い国債の金利低下幅が相対的に小さかったことなどによるものです。

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) マザーファンドの参考指数はCRISIL Short Term Bond Fund Index (円換算ベース) です。

(注3) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■年2回決算型



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はCRISIL Short Term Bond Fund Index (円換算ベース) です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+11.3%となり、参考指数騰落率(+12.9%)を下回りました。

これは当ファンドにおいて信託報酬等の費用を控除した影響に加え、マザーファンドにおいて保有の多い国債の金利低下幅が相対的に小さかったことなどによるものです。

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) マザーファンドの参考指数はCRISIL Short Term Bond Fund Index (円換算ベース) です。

(注3) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

分配金

■ 毎月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2024年1月16日 ～ 2024年2月15日	2024年2月16日 ～ 2024年3月15日	2024年3月16日 ～ 2024年4月15日	2024年4月16日 ～ 2024年5月15日	2024年5月16日 ～ 2024年6月17日	2024年6月18日 ～ 2024年7月16日
当期分配金（税引前）	35円	35円	35円	35円	35円	35円
対基準価額比率	0.41%	0.41%	0.40%	0.39%	0.39%	0.39%
当期の収益	35円	31円	35円	35円	35円	35円
当期の収益以外	－	3円	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	374円	371円	377円	386円	397円	400円

■ 年2回決算型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年1月16日～2024年7月16日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	8,584円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的にインド・ルピー建ての短期債券等に分散投資し、安定した利息収入の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

インドの金利については小幅な低下を予想します。海外金利の上昇には注意が必要であるものの、近い将来におけるRBIの利下げが視野に入っていることに加えて、6月末より開始された主要新興国債券指数へのインド国債の組み入れに伴い、インド債券市場への継続的な資金流入が期待されることなどから、インドの金利は低下を予想します。ただし、インドの経済見通しが良好である中、インフレの沈静化には時間を要すると見られることから、現時点ではRBIによる連続的な利下げは見通しづらく、インドの金利低下は小幅にとどまるものと予想します。

インド・ルピー/円レートについては、底堅い推移を予想します。日銀の金融緩和政策の修正期待が円高要因となり得るものの、堅調なインド経済を背景にインド株式・債券市場を中心に外国人投資家からの資金流入が期待されることなどから、インド・ルピーは下支えされるものと予想します。

引き続き、市場環境に留意しながら、インド・ルピー建ての短期債券に分散投資し、安定した利息収入の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行います。

ファンドデータ

ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）の組入資産の内容

組入ファンド

	第118期末 2024年7月16日
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

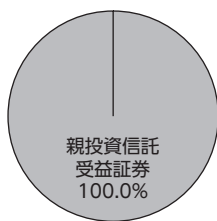
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

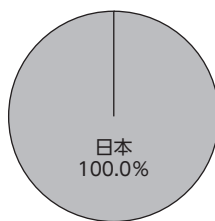
項目	第113期末 2024年2月15日	第114期末 2024年3月15日	第115期末 2024年4月15日	第116期末 2024年5月15日	第117期末 2024年6月17日	第118期末 2024年7月16日
純資産総額	16,941,523,640円	16,634,119,934円	16,958,954,355円	17,043,813,324円	17,174,469,592円	17,176,695,563円
受益権総口数	19,732,198,831口	19,573,901,830口	19,436,459,064口	19,206,487,138口	19,125,689,700口	19,012,086,682口
1万口当たり基準価額	8,586円	8,498円	8,725円	8,874円	8,980円	9,035円

(注) 当作成期間（第113期～第118期）中における追加設定元本額は253,789,647円、同解約元本額は1,159,355,024円です。

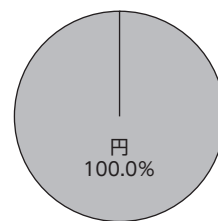
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年7月16日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ短期インド債券ファンド（年2回決算型）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第20期末 2024年7月16日
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

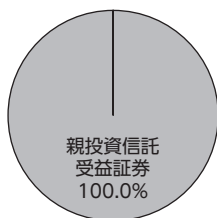
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

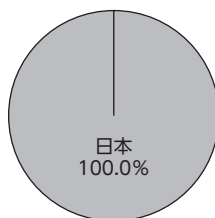
項目	第20期末 2024年7月16日
純資産総額	3,400,297,414円
受益権総口数	1,838,419,476口
1万口当たり基準価額	18,496円

(注) 当期間中における追加設定元本額は226,451,258円、同解約元本額は169,546,990円です。

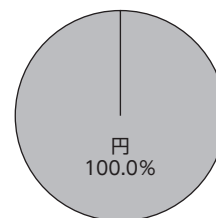
■資産別配分



■国別配分



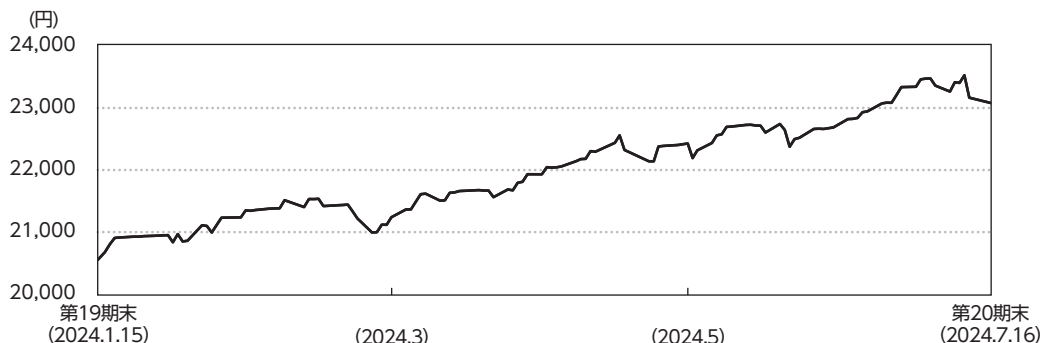
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年7月16日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ短期インド債券マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

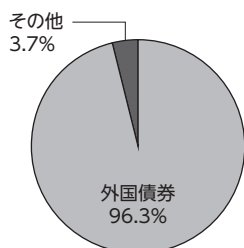
銘柄名	通貨	比率
INDIA GOVERNMENT BOND 7.27% 2026/4/8	インド・ルピー	11.2%
NABARD 7.4% 2026/1/30	インド・ルピー	9.2
SMALL IND DEV BNK OF IND 7.11% 2026/2/27	インド・ルピー	8.3
INDIA GOVERNMENT BOND 7.06% 2028/4/10	インド・ルピー	7.5
LARSEN & TOUBRO LTD 7.7% 2025/4/28	インド・ルピー	6.5
INDIA GOVERNMENT BOND 5.63% 2026/4/12	インド・ルピー	6.4
REC LTD 7.77% 2028/3/31	インド・ルピー	5.6
REC LTD 7.46% 2028/6/30	インド・ルピー	5.1
POWER FINANCE CORP LTD 7.77% 2028/4/15	インド・ルピー	4.7
NABARD 7.62% 2028/1/31	インド・ルピー	4.6
組入銘柄数		20

■ 1万口当たりの費用明細

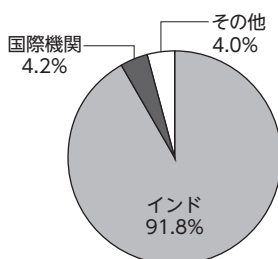
2024.1.16~2024.7.16

項目	金額
有価証券取引税 (公社債)	0円 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	12 (10) (1)
合計	12

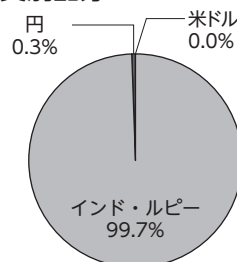
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年7月16日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	参考指数	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円		%		
89期(2022年 2月15日)	7,626	35	△0.3	13,051	15,837	△0.1	95.3	20,158
90期(2022年 3月15日)	7,669	35	1.0	13,129	16,060	1.4	94.1	20,020
91期(2022年 4月15日)	8,136	35	6.5	13,631	17,145	6.8	94.7	20,720
92期(2022年 5月16日)	8,077	35	△0.3	13,607	17,129	△0.1	94.5	20,058
93期(2022年 6月15日)	8,335	35	3.6	13,900	17,756	3.7	94.6	20,190
94期(2022年 7月15日)	8,380	35	1.0	13,980	18,031	1.6	91.6	19,842
95期(2022年 8月15日)	8,057	35	△3.4	13,692	17,428	△3.3	94.7	18,785
96期(2022年 9月15日)	8,691	35	8.3	14,361	18,986	8.9	88.8	19,893
97期(2022年10月17日)	8,582	35	△0.9	14,287	18,803	△1.0	92.1	19,439
98期(2022年11月15日)	8,258	35	△3.4	13,998	18,251	△2.9	91.3	18,441
99期(2022年12月15日)	7,854	35	△4.5	13,629	17,434	△4.5	95.2	17,344
100期(2023年 1月16日)	7,515	35	△3.9	13,325	16,777	△3.8	95.6	16,482
101期(2023年 2月15日)	7,603	35	1.6	13,448	17,170	2.3	94.8	16,523
102期(2023年 3月15日)	7,806	35	3.1	13,686	17,685	3.0	93.3	16,790
103期(2023年 4月17日)	7,838	35	0.9	13,753	17,846	0.9	95.1	16,680
104期(2023年 5月15日)	7,885	35	1.0	13,835	18,088	1.4	94.6	16,641
105期(2023年 6月15日)	8,165	35	4.0	14,150	18,864	4.3	94.0	17,097
106期(2023年 7月18日)	8,052	35	△1.0	14,072	18,748	△0.6	96.2	16,740
107期(2023年 8月15日)	8,326	35	3.8	14,381	19,492	4.0	96.0	17,183
108期(2023年 9月15日)	8,470	35	2.1	14,560	19,954	2.4	95.9	17,334
109期(2023年10月16日)	8,536	35	1.2	14,661	20,237	1.4	95.8	17,342
110期(2023年11月15日)	8,634	35	1.6	14,794	20,596	1.8	96.5	17,414
111期(2023年12月15日)	8,128	35	△5.5	14,323	19,467	△5.5	96.2	16,240
112期(2024年 1月15日)	8,316	35	2.7	14,546	20,032	2.9	96.1	16,562
113期(2024年 2月15日)	8,586	35	3.7	14,851	20,855	4.1	96.5	16,941
114期(2024年 3月15日)	8,498	35	△0.6	14,798	20,777	△0.4	95.5	16,634
115期(2024年 4月15日)	8,725	35	3.1	15,060	21,467	3.3	95.2	16,958
116期(2024年 5月15日)	8,874	35	2.1	15,244	21,951	2.3	91.4	17,043
117期(2024年 6月17日)	8,980	35	1.6	15,385	22,335	1.7	96.2	17,174
118期(2024年 7月16日)	9,035	35	1.0	15,475	22,610	1.2	96.3	17,176

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	債券 組入比率
第 113 期	(期首)	円	%		%	%
	2024年 1月15日	8,316	－	20,032	－	96.1
	1月末	8,476	1.9	20,446	2.1	91.4
	(期末)					
第 114 期	2024年 2月15日	8,621	3.7	20,855	4.1	96.5
	(期首)					
	2024年 2月15日	8,586	－	20,855	－	96.5
	2月末	8,658	0.8	21,042	0.9	96.3
第 115 期	(期末)					
	2024年 3月15日	8,533	△0.6	20,777	△0.4	95.5
	(期首)					
	2024年 3月15日	8,498	－	20,777	－	95.5
第 116 期	3月末	8,660	1.9	21,190	2.0	94.9
	(期末)					
	2024年 4月15日	8,760	3.1	21,467	3.3	95.2
	(期首)					
第 117 期	2024年 4月15日	8,725	－	21,467	－	95.2
	4月末	8,919	2.2	21,993	2.5	95.9
	(期末)					
	2024年 5月15日	8,909	2.1	21,951	2.3	91.4
第 118 期	(期首)					
	2024年 5月15日	8,874	－	21,951	－	91.4
	5月末	8,937	0.7	22,144	0.9	96.6
	(期末)					
第 118 期	2024年 6月17日	9,015	1.6	22,335	1.7	96.2
	(期首)					
	2024年 6月17日	8,980	－	22,335	－	96.2
	6月末	9,177	2.2	22,869	2.4	96.1
第 118 期	(期末)					
	2024年 7月16日	9,070	1.0	22,610	1.2	96.3

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年1月16日～2024年7月16日

	第113期～第118期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	101,474	222,836	709,291	1,554,849

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年1月16日～2024年7月16日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年7月16日現在

種類	第112期末	第118期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	8,056,810	7,448,993	17,179,613

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ短期インド債券マザーファンド全体の口数は8,923,594千口です。

投資信託財産の構成

2024年7月16日現在

項目	第118期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	17,179,613	99.3
コール・ローン等、その他	112,955	0.7
投資信託財産総額	17,292,569	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月16日における邦貨換算レートは、1米ドル158.45円、1インド・ルピー1.91円です。

(注2) ニッセイ短期インド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（20,527,620千円）の投資信託財産総額（20,685,519千円）に対する比率は99.2%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

特定資産の価格等の調査

マザーファンドで行った取引のうち、投資信託及び投資法人に関する法律により価格などの調査が必要とされた資産の取引については、有限責任監査法人トーマツへ調査を委託しました。

当作成期中にマザーファンドにおいてNDF取引を12件行っていますが、当ファンドの決算日時点において当該監査法人からの調査報告書が未受領のため、次回以降の運用報告書にて開示します。

なお、前回決算時に未受領であった16件のうち11月末日までに取引した12件につきましては、すでに監査法人から調査報告書を受領しています。（調査が未受領の4件につきましては、次回以降の運用報告書にて開示します）

NDF取引については、取引相手方の名称、銘柄、数量等の内容に関することについて調査を依頼しました。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2024年2月15日)	(2024年3月15日)	(2024年4月15日)	(2024年5月15日)	(2024年6月17日)	(2024年7月16日)現在
	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末
(A)資産						
産	17,105,353,291円	16,741,160,573円	17,074,884,551円	17,158,171,203円	17,277,083,344円	17,292,569,062円
コール・ローン等	16,778,954	16,217,489	17,581,188	17,126,563	19,369,094	15,919,993
ニッセイ短期インド債券 マザーファンド(評価額)	16,942,103,953	16,634,768,205	16,961,085,194	17,044,472,187	17,176,694,996	17,179,613,990
未収入金	146,470,384	90,174,879	96,218,169	96,572,453	81,019,254	97,035,079
(B)負債						
債	163,829,651	107,040,639	115,930,196	114,357,879	102,613,752	115,873,499
未払収益分配金	69,062,695	68,508,656	68,027,606	67,222,704	66,939,913	66,542,303
未払解約金	72,108,662	17,265,416	25,159,186	24,807,622	11,089,551	27,353,319
未払信託報酬	22,574,172	21,187,671	22,658,992	22,244,977	24,493,393	21,896,963
その他未払費用	84,122	78,896	84,412	82,576	90,895	80,914
(C)純資産総額(A-B)	16,941,523,640	16,634,119,934	16,958,954,355	17,043,813,324	17,174,469,592	17,176,695,563
元本	19,732,198,831	19,573,901,830	19,436,459,064	19,206,487,138	19,125,689,700	19,012,086,682
次期繰越損益金△	2,790,675,191	△ 2,939,781,896	△ 2,477,504,709	△ 2,162,673,814	△ 1,951,220,108	△ 1,835,391,119
(D)受益権総口数	19,732,198,831口	19,573,901,830口	19,436,459,064口	19,206,487,138口	19,125,689,700口	19,012,086,682口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,586円	8,498円	8,725円	8,874円	8,980円	9,035円

(注1) 当作成期首元本額 19,917,652,059円
 当作成期中追加設定元本額 253,789,647円
 当作成期中一部解約元本額 1,159,355,024円

(注2) 元本の欠損
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,835,391,119円です。

ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

(第113期 2024年 1月16日～2024年 2月15日) (第116期 2024年 4月16日～2024年 5月15日)
 (第114期 2024年 2月16日～2024年 3月15日) (第117期 2024年 5月16日～2024年 6月17日)
 (第115期 2024年 3月16日～2024年 4月15日) (第118期 2024年 6月18日～2024年 7月16日)

項目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
(A)配当等収益	△ 8円	△ 37円	278円	284円	425円	297円
受取利息	15	-	278	284	425	297
支払利息	△ 23	△ 37	-	-	-	-
(B)有価証券売買損益	623,999,875	△ 81,784,883	532,098,849	374,453,471	293,571,767	192,363,230
売買益	628,008,569	979,515	534,338,235	376,842,293	294,726,837	194,535,380
売買損	△ 4,008,694	△ 82,764,398	△ 2,239,386	△ 2,388,822	△ 1,155,070	△ 2,172,150
(C)信託報酬等	△ 22,658,294	△ 21,266,568	△ 22,743,406	△ 22,327,553	△ 24,584,288	△ 21,977,877
(D)当期損益金(A+B+C)	601,341,573	△ 103,051,488	509,355,721	352,126,202	268,987,904	170,385,650
(E)前期繰越損益金	△1,800,589,226	△1,254,840,307	△1,414,644,930	△ 959,814,668	△ 670,448,300	△ 464,573,247
(分配準備積立金)	(85,608,561)	(97,111,558)	(88,981,032)	(99,638,390)	(116,581,171)	(135,757,140)
(繰越欠損金)	(△1,886,197,787)	(△1,351,951,865)	(△1,503,625,962)	(△1,059,453,058)	(△ 787,029,471)	(△ 600,330,387)
(F)追加信託差損益金*	△1,522,364,843	△1,513,381,445	△1,504,187,894	△1,487,762,644	△1,482,819,799	△1,474,661,219
(配当等相当額)	(641,136,120)	(636,354,292)	(632,104,324)	(624,882,258)	(622,630,497)	(619,352,802)
(売買損益相当額)	(△2,163,500,963)	(△2,149,735,737)	(△2,136,292,218)	(△2,112,644,902)	(△2,105,450,296)	(△2,094,014,021)
(G)合計(D+E+F)	△2,721,612,496	△2,871,273,240	△2,409,477,103	△2,095,451,110	△1,884,280,195	△1,768,848,816
(H)収益分配金	△ 69,062,695	△ 68,508,656	△ 68,027,606	△ 67,222,704	△ 66,939,913	△ 66,542,303
次期繰越損益金(G+H)	△2,790,675,191	△2,939,781,896	△2,477,504,709	△2,162,673,814	△1,951,220,108	△1,835,391,119
追加信託差損益金	△1,522,364,843	△1,513,381,445	△1,504,187,894	△1,487,762,644	△1,482,819,799	△1,474,661,219
(配当等相当額)	(641,243,462)	(636,463,919)	(632,155,831)	(624,977,349)	(622,746,498)	(619,439,903)
(売買損益相当額)	(△2,163,608,305)	(△2,149,845,364)	(△2,136,343,725)	(△2,112,739,993)	(△2,105,566,297)	(△2,094,101,122)
分配準備積立金	98,153,999	89,720,454	101,040,049	117,357,197	136,875,480	142,833,107
繰越欠損金	△1,366,464,347	△1,516,120,905	△1,074,356,864	△ 792,268,367	△ 605,275,789	△ 503,563,007

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
(a) 経費控除後の配当等収益	81,608,133円	61,117,552円	80,086,623円	84,941,511円	87,234,222円	73,618,270円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	641,243,462円	636,463,919円	632,155,831円	624,977,349円	622,746,498円	619,439,903円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	85,608,561円	97,111,558円	88,981,032円	99,638,390円	116,581,171円	135,757,140円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	808,460,156円	794,693,029円	801,223,486円	809,557,250円	826,561,891円	828,815,313円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	409.72円	406.00円	412.23円	421.50円	432.17円	435.94円
(g) 分配金	69,062,695円	68,508,656円	68,027,606円	67,222,704円	66,939,913円	66,542,303円
(h) 分配金 (1万口当たり)	35円	35円	35円	35円	35円	35円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

ニッセイ短期インド債券ファンド（年2回決算型）

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	参考指数	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
	円	円	%	円		%	%	百万円
16期(2022年7月15日)	15,507	0	11.9	15,507	18,031	13.8	91.6	3,406
17期(2023年1月16日)	14,264	0	△ 8.0	14,264	16,777	△ 7.0	95.6	2,724
18期(2023年7月18日)	15,696	0	10.0	15,696	18,748	11.7	96.2	2,913
19期(2024年1月15日)	16,620	0	5.9	16,620	20,032	6.8	96.1	2,960
20期(2024年7月16日)	18,496	0	11.3	18,496	22,610	12.9	96.3	3,400

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	債券
					組入比率
	円	%		%	%
(期首)2024年1月15日	16,620	—	20,032	—	96.1
1月末	16,941	1.9	20,446	2.1	91.4
2月末	17,375	4.5	21,042	5.0	96.3
3月末	17,452	5.0	21,190	5.8	94.9
4月末	18,048	8.6	21,993	9.8	95.9
5月末	18,155	9.2	22,144	10.5	96.6
6月末	18,715	12.6	22,869	14.2	96.1
(期末)2024年7月16日	18,496	11.3	22,610	12.9	96.3

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

ニッセイ短期インド債券ファンド（年2回決算型）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年1月16日～2024年7月16日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	182,309	401,707	148,013	321,085

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年1月16日～2024年7月16日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年7月16日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	1,440,304	1,474,600	3,400,872

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ短期インド債券マザーファンド全体の口数は8,923,594千口です。

投資信託財産の構成

2024年7月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ短期インド債券マザーファンド	3,400,872	99.1
コール・ローン等、その他	32,129	0.9
投資信託財産総額	3,433,001	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月16日における邦貨換算レートは、1米ドル158.45円、1インド・ルピー1.91円です。

(注2) ニッセイ短期インド債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（20,527,620千円）の投資信託財産総額（20,685,519千円）に対する比率は99.2%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

特定資産の価格等の調査

マザーファンドで行った取引のうち、投資信託及び投資法人に関する法律により価格などの調査が必要とされた資産の取引については、有限責任監査法人トーマツへ調査を委託しました。

当期中にマザーファンドにおいてNDF取引を12件行っていますが、当ファンドの決算日時点において当該監査法人からの調査報告書が未受領のため、次回以降の運用報告書にて開示します。

なお、前回決算時に未受領であった16件のうち11月末日までに取引した12件につきましては、すでに監査法人から調査報告書を受領しています。（調査が未受領の4件につきましては、次回以降の運用報告書にて開示します）

NDF取引については、取引相手方の名称、銘柄、数量等の内容に関することについて調査を依頼しました。

資産、負債、元本および基準価額の状況

（2024年7月16日現在）

項目	当期末
(A) 資産	3,433,001,540円
コール・ローン等	23,992,049
ニッセイ短期インド債券マザーファンド(評価額)	3,400,872,016
未収入金	8,137,475
(B) 負債	32,704,126
未払解約金	7,539,698
未払信託報酬	25,026,370
その他未払費用	138,058
(C) 純資産総額(A-B)	3,400,297,414
元本	1,838,419,476
次期繰越損益金	1,561,877,938
(D) 受益権総口数	1,838,419,476口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,496円

(注) 期首元本額	1,781,515,208円
期中追加設定元本額	226,451,258円
期中一部解約元本額	169,546,990円

損益の状況

当期（2024年1月16日～2024年7月16日）

項目	当期
(A) 配当等収益	2,964円
受取利息	2,987
支払利息	△ 23
(B) 有価証券売買損益	345,164,916
売却益	358,983,957
売却損	△ 13,819,041
(C) 信託報酬等	△ 25,164,437
(D) 当期損益金(A+B+C)	320,003,443
(E) 前期繰越損益金	687,439,235
(分配準備積立金)	(819,999,154)
(繰越欠損金)	(△ 132,559,919)
(F) 追加信託差損益金*	554,435,260
(配当等相当額)	(569,678,276)
(売買損益相当額)	(△ 15,243,016)
(G) 合計(D+E+F)	1,561,877,938
次期繰越損益金(G)	1,561,877,938
追加信託差損益金	554,435,260
(配当等相当額)	(570,743,658)
(売買損益相当額)	(△ 16,308,398)
分配準備積立金	1,007,442,678

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	90,114,824円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	97,328,700円
(c) 信託約款に定める収益調整金	570,743,658円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	819,999,154円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	1,578,186,336円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	8,584.47円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

各ファンドの概要

		毎月決算型	年2回決算型
商 品 分 類		追加型投信／海外／債券	特化型
信 託 期 間		2014年8月29日～2029年7月17日	2014年8月29日～2044年1月15日
運 用 方 針		ニッセイ短期インド債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的にインド・ルピー建ての短期債券等に分散投資し、安定した利息収入の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）（年2回決算型）	ニッセイ短期インド債券マザーファンド受益証券	
	ニッセイ短期インド債券マザーファンド	インド・ルピー建ての短期債券（国債、社債、政府機関債、国際機関債等）	
運用方法	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）（年2回決算型）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイ短期インド債券マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	

ニッセイ短期インド債券 マザーファンド

運用報告書

第 20 期

(計算期間：2024年1月16日～2024年7月16日)

運用方針	<p>①主にインド・ルピー建ておよび為替取引により実質的にインド・ルピー建てとなる短期債券（国債、社債、政府機関債、国際機関債等）に分散投資し、安定した配当等収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。</p> <p>②原則として、インド・ルピー建て債券に投資しますが、インドの市場動向、流動性、投資規制状況等によっては、他通貨建て債券に投資することがあります。この場合、為替予約取引を行うことで実質的にインド・ルピー建て債券に投資を行うのとおおむね同等の効果をを得ることをめざします。</p>	主要運用対象	インド・ルピー建ての短期債券（国債、社債、政府機関債、国際機関債等）
	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	



ニッセイアセットマネジメント株式会社

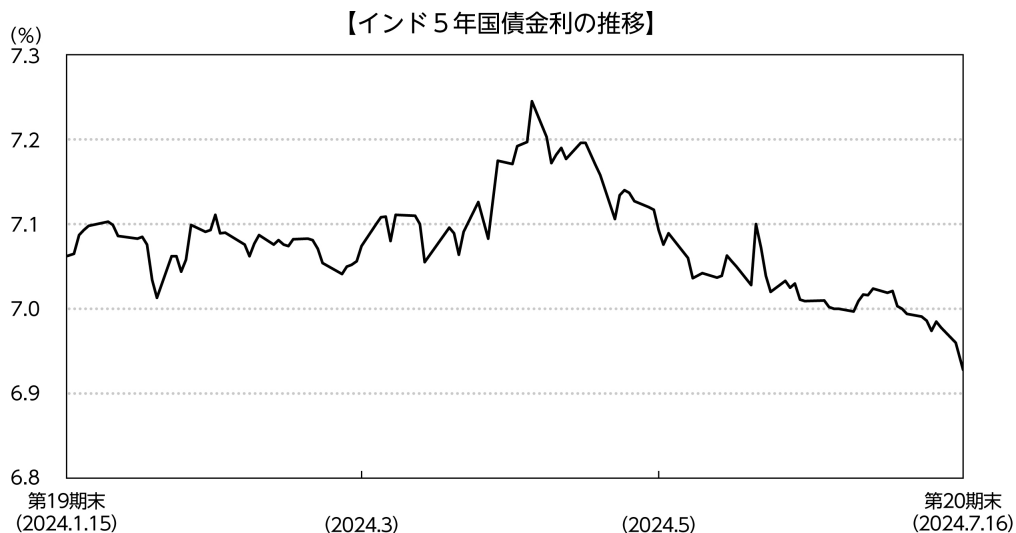
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年1月16日～2024年7月16日

投資環境

■インド債券市況

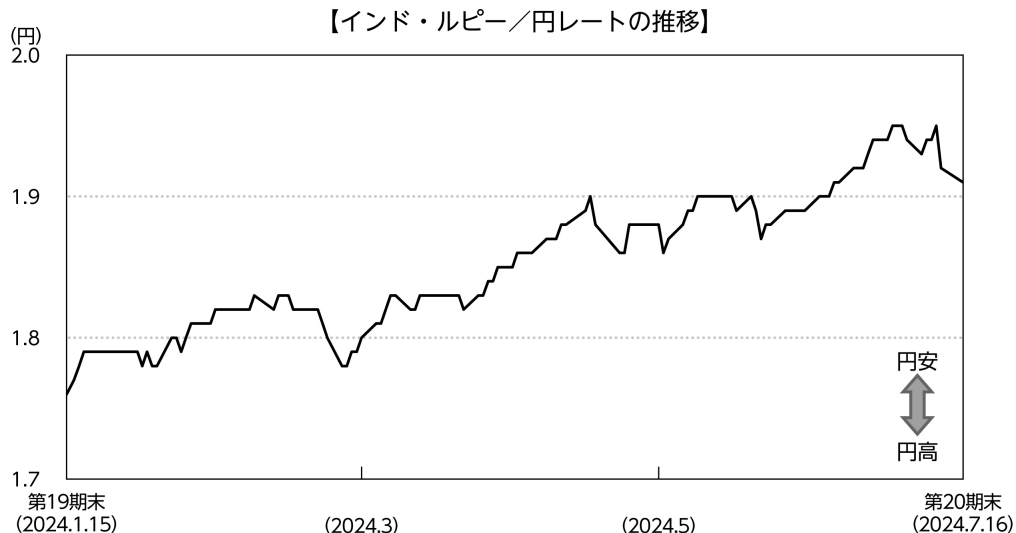


(注) ブルームバークのデータを使用しています。

インド5年国債金利は前期末対比で低下しました。

期初から3月末にかけては、消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化する中、RBIが早期の利下げに慎重な姿勢を示したことから、金利は振れ幅を伴いつつも横ばい圏で推移しました。その後、4月末にかけては米国の利下げ観測が後退し、世界的に金利上昇の地合いが強まる中、インド国債金利も上昇しました。5月から当期末にかけては、米金利の上昇一服に加えて、主要新興国債券指数へのインド国債の組み入れを背景にインド債券市場への継続的な資金流入に対する期待感が高まったことから、インド国債金利は低下基調で推移しました。

■為替市況

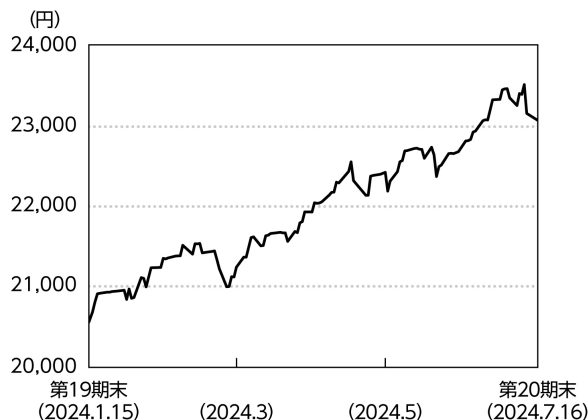


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

インド・ルピー／円レートは前期末対比で上昇しました。

期初から4月下旬にかけて、インドではRBIの金融引き締めが当面継続するとの見方が強まる一方、日本では日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したこと等から、インド・ルピーは上昇基調で推移しました。4月末から6月末にかけては、日本の米ドル売り円買いの為替介入を受けて円高に大きく振れる場面もありましたが、上昇基調は継続しました。7月上旬から当期末にかけては、日本の米ドル売り円買いの為替介入と見られる動きや日銀金融政策決定会合への警戒感などから円高が進み、これまでの上昇幅を縮小する動きとなりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 期初から2月末、3月中旬から4月末、6月上旬から7月上旬にかけて、日本では日銀の金融緩和政策の修正には限界があると見る向きが多い一方、インドではインド準備銀行（RBI：中央銀行）が政策金利を据え置き、金融引き締め局面を続けていたことから、金融政策の方向性の違いなどを背景にして、インド・ルピーが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬に日本では日銀がマイナス金利政策を解除にすると観測が強まり、インド・ルピーが対円で下落したこと
- ・ 7月上旬から当期末にかけて、日本の米ドル売り円買いの為替介入と見られる動きや日銀金融政策決定会合への警戒感などから円高が進み、インド・ルピーが対円で下落したこと

ポートフォリオ

インド・ルピー建ての短期債券（国債、社債、政府機関債、国際機関債等）に分散投資し、安定した利息収入の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行いました。なお、インド債券市場に関する調査・分析等については、ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメントから助言を受け、ファンドの運用に活用しています。

当期末の債券種別構成比（注1）は、組入比率の高い順に、社債（46.2%）、国債（35.1%）、政府機関債（14.4%）、国際機関債（4.3%）としています。

また、社債・政府機関債等の業種別構成比（注2）は、組入比率の高い順に、商業金融（インフラ投資）（54.9%）、銀行（22.1%）、住宅金融（11.8%）、資本財・サービス（11.1%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）比率は対組入社債・政府機関債等評価額比です。

参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はCRISIL Short Term Bond Fund Index (円換算ベース) です。

当期の基準価額騰落率は+12.2%となり、参考指数騰落率(+12.9%)を下回りました。

これは当ファンドにおいて保有の多い国債の金利低下幅が相対的に小さかったことなどによるものです。

(注) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

今後の運用方針

インドの金利については小幅な低下を予想します。海外金利の上昇には注意が必要であるものの、近い将来におけるRBIの利下げが視野に入っていることに加えて、6月末より開始された主要新興国債券指数へのインド国債の組み入れに伴い、インド債券市場への継続的な資金流入が期待されることなどから、インドの金利は低下を予想します。ただし、インドの経済見通しが良好である中、インフレの沈静化には時間を要すると見られることから、現時点ではRBIによる連続的な利下げは見通しづらく、インドの金利低下は小幅にとどまるものと予想します。

インド・ルピー/円レートについては、底堅い推移を予想します。日銀の金融緩和政策の修正期待が円高要因となり得るものの、堅調なインド経済を背景にインド株式・債券市場を中心に外国人投資家からの資金流入が期待されることなどから、インド・ルピーは下支えされるものと予想します。

引き続き、市場環境に留意しながら、インド・ルピー建ての短期債券に分散投資し、安定した利息収入の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行います。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指数	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率		
	円	%		%	%	百万円
16期(2022年7月15日)	18,729	12.8	19,261	13.8	91.6	23,249
17期(2023年1月16日)	17,368	△ 7.3	17,921	△ 7.0	95.6	19,209
18期(2023年7月18日)	19,264	10.9	20,027	11.7	96.2	19,657
19期(2024年1月15日)	20,560	6.7	21,398	6.8	96.1	19,526
20期(2024年7月16日)	23,063	12.2	24,151	12.9	96.3	20,580

(注) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	債券 組入比率
	円	%		%	%
(期首)2024年1月15日	20,560	—	21,398	—	96.1
1月末	20,971	2.0	21,840	2.1	91.4
2月末	21,536	4.7	22,477	5.0	96.2
3月末	21,659	5.3	22,635	5.8	94.9
4月末	22,429	9.1	23,492	9.8	95.9
5月末	22,593	9.9	23,654	10.5	96.6
6月末	23,318	13.4	24,429	14.2	96.1
(期末)2024年7月16日	23,063	12.2	24,151	12.9	96.3

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2024年1月16日～2024年7月16日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
有価証券取引税 (公社債)	0円 (0)	0.000% (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	12 (10)	0.054 (0.047)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.007)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	12	0.054	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（22,001円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年1月16日～2024年7月16日

(1) 公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル	千米ドル
			400	— (400)
	インド	国債証券	千インド・ルピー	千インド・ルピー
			—	828,025
特殊債券			547,865	451,168
	社債券	1,709,311	1,298,754	

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注4) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

ニッセイ短期インド債券マザーファンド

(2) スワップおよび先渡取引状況

種類	当期	
	取引契約金額	
	買建	売建
直物為替先渡取引	百万円 625	百万円 622

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

主要な売買銘柄

2024年1月16日～2024年7月16日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
REC LTD	1,106,396	POWER FINANCE CORP LTD	925,076
POWER FINANCE CORP LTD	922,285	BAJAJ FINANCE LTD	911,586
NABARD	914,296	INDIA GOVERNMENT BOND	715,896
POWER FINANCE CORP LTD	567,454	INDIA GOVERNMENT BOND	710,296
BAJAJ HOUSING FINANCE	474,291	POWER GRID CORP OF INDIA	661,376
REC LTD	93,656	REC LIMITED	443,616
INTL BK RECON & DEVELOP	86,367	NABARD	96,406
US TREASURY	64,566	INDIAN RAILWAY FINANCE	89,540
—	—	INTER-AMERICAN DEVEL BK	89,401
		INDIA GOVERNMENT BOND	89,093

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2024年7月16日現在

(1) 外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	400	402	63,802	0.3	-	-	-	0.3
インド	千インド・ルピー	千インド・ルピー						
	10,350,000	10,342,069	19,753,352	96.0	-	-	41.0	55.0
合計	-	-	19,817,155	96.3	-	-	41.0	55.3

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(外国公社債の内訳)

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					千米ドル	千円
アメリカ		%		千米ドル	千米ドル	千円
国債証券	US TREASURY	4.8750	2026/05/31	400	402	63,802
小計		-	-	-	-	63,802
インド				千インド・ルピー	千インド・ルピー	
国債証券	INDIA GOVERNMENT BOND	7.2700	2026/04/08	1,200,000	1,209,048	2,309,281
	INDIA GOVERNMENT BOND	5.6300	2026/04/12	700,000	687,260	1,312,666
	INDIA GOVERNMENT BOND	6.9700	2026/09/06	300,000	300,912	574,741
	INDIA GOVERNMENT BOND	7.3800	2027/06/20	450,000	455,841	870,656
	INDIA GOVERNMENT BOND	7.0600	2028/04/10	800,000	805,688	1,538,864
	INDIA GOVERNMENT BOND	7.1000	2029/04/18	150,000	150,862	288,147
特殊債券	INTL BK RECON & DEVELOP	4.9000	2026/02/12	50,000	48,550	92,730
	INTL FINANCE CORP	6.3000	2024/11/25	400,000	399,384	762,823
	NABARD	7.4000	2026/01/30	1,000,000	995,317	1,901,055
	NABARD	7.6200	2028/01/31	500,000	500,429	955,819
社債券	BAJAJ HOUSING FINANCE	8.1000	2027/07/08	250,000	250,905	479,229
	HDFC BANK LTD	7.4000	2025/06/02	500,000	498,769	952,648
	LARSEN & TOUBRO LTD	7.7000	2025/04/28	700,000	699,677	1,336,383
	LIC HOUSING FINANCE LTD	5.6937	2025/05/20	500,000	491,112	938,024
	POWER FINANCE CORP LTD	7.5900	2028/01/17	300,000	300,043	573,083

ニッセイ短期インド債券マザーファンド

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額		
					千円	邦貨換算金額	
インド	社債券	POWER FINANCE CORP LTD	7.7700	2028/04/15	500,000	503,191	961,094
		REC LTD	7.7700	2028/03/31	600,000	603,683	1,153,035
		REC LTD	7.4600	2028/06/30	550,000	548,530	1,047,694
		SMALL IND DEV BNK OF IND	7.1100	2026/02/27	900,000	892,864	1,705,371
	小計	-	-	-	-	-	19,753,352
合計		-	-	-	-	-	19,817,155

(2) スワップおよび先渡取引残高

種類	取引契約残高	
	当期末想定元本額	
	買建	売建
直物為替先渡取引	百万円 213	百万円 106

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

投資信託財産の構成

2024年7月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	19,817,155	95.8
コール・ローン等、その他	868,363	4.2
投資信託財産総額	20,685,519	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売相場の中値により邦貨換算したものです。なお7月16日における邦貨換算レートは、1米ドル158.45円、1インド・ルピー1.91円です。

(注2) 外貨建純資産（20,527,620千円）の投資信託財産総額（20,685,519千円）に対する比率は99.2%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

特定資産の価格等の調査

当マザーファンドで行った取引のうち、投資信託及び投資法人に関する法律により価格などの調査が必要とされた資産の取引については、有限責任監査法人トーマツへ調査を委託しました。

当期中にNDF取引を12件行っていますが、決算日時点において当該監査法人からの調査報告書が未受領のため、次回以降の運用報告書にて開示します。

なお、前回決算時に未受領であった16件のうち11月末日までに取引した12件につきましては、すでに監査法人から調査報告書を受領しています。（調査が未受領の4件につきましては、次回以降の運用報告書にて開示します）

NDF取引については、取引相手方の名称、銘柄、数量等の内容に関することについて調査を依頼しました。

ニッセイ短期インド債券マザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月16日現在)

項目	当期末
(A) 資産	20,685,519,231円
コール・ローン等	374,053,480
公社債(評価額)	19,817,155,395
未収入金	128,067
未収利息	394,745,739
前払金	74,706,079
前払費用	24,730,471
(B) 負債	105,318,003
未払金	145,449
未払解約金	105,172,554
(C) 純資産総額(A-B)	20,580,201,228
元本	8,923,594,505
次期繰越損益金	11,656,606,723
(D) 受益権総口数	8,923,594,505口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,063円

- (注1) 期首元本額 9,497,114,902円
 期中追加設定元本額 283,783,975円
 期中一部解約元本額 857,304,372円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 ニッセイ短期インド債券ファンド (毎月決算型) 7,448,993,622円
 ニッセイ短期インド債券ファンド (年2回決算型) 1,474,600,883円

損益の状況

当期 (2024年1月16日~2024年7月16日)

項目	当期
(A) 配当等収益	633,724,725円
受取利息	633,726,224
支払利息	△ 1,499
(B) 有価証券売買損益	1,682,689,445
売買益	1,687,772,926
売買損	△ 5,083,481
(C) 先物取引等損益	△ 350,208
取引益	2,016,154
取引損	△ 2,366,362
(D) 信託報酬等	△ 10,857,751
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	2,305,206,211
(F) 前期繰越損益金	10,029,270,186
(G) 追加信託差損益金	340,760,520
(H) 解約差損益金	△ 1,018,630,194
(I) 合計(E+F+G+H)	11,656,606,723
次期繰越損益金(I)	11,656,606,723

- (注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ CRISIL Short Term Bond Fund Index (円換算ベース)

すべてのCRISILインデックスは、指数値ならびにそこに含まれるデータを含め、CRISIL Limited (CRISIL社) の知的財産であり、いかなる場合においても複製・頒布等が禁じられております。CRISIL社は、自らが信頼できると考える情報源からCRISILインデックスの計算に使用するための情報を入手し、相当な注意を以てその計算を行います。インデックスの正確性、完全性を保証するものではありません。CRISIL社はCRISILインデックスの、またはそれに関連する過誤、省略または中断に対して、またCRISIL社はCRISILインデックスの使用に関して得られる結果について、何ら責任を負うことはありません。同インデックスの使用に起因する損害についていかなる場合においても責任を負うことはありません。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

©CRISIL Limited [2014] 不許複製・禁無断転載